

JSAF 加盟団体/特別加盟団体 各位

## 「2014 秋の安全週間のご案内」

拝啓

各加盟団体におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、公益財団法人日本セーリング連盟外洋安全委員会では2012年度から、春と秋の年2回に「安全週間」を設けることとしました。今年度も秋の安全週間運動を実施します。

ご存知の通り、この2年の間に落水から重大な結果に至る事故が4件起きています。また、今年の夏期においても、落水して自艇では救助できずに海上保安庁など他の艇に救助されたという事故が3件ほど起きたと聞いています。**ヨットにおける死亡や行方不明に至る重大事故は落水からしか始まらないと言っても過言ではありません。事故発生後の対応（落水救助）の訓練も必要ですが、落水事故そのものを起こさないための日頃の艇整備とセーリング技術の向上、適切な乗員の選定、適切な航海プランの策定といった事前の準備が重要です。**

備品の点検整備や落水救助を初めとする種々の訓練などは、慣れなどから忘れがちな点でもあります。そこで「安全週間」運動をPRすることにより、外洋艇での航行における安全に対する意識を改めて思い起こしていただくことを目的としています。

本案内および添付のパンフレットなどを貴団体のホームページへの掲載、会員へメール添付で送付案内、プリントアウトして掲示や配布するなどして、貴団体の会員にこの「安全週間」運動をPRいただき、セーラー各自の安全意識の向上＝事故防止にご協力いただけることをお願いいたします。

敬具

注) 安全は通年において航行の度に気をつけるべき事で、安全週間だけ気をつければよいというものでもありません。

安全週間の目的：セーラー全般に安全航行に対する思想の普及・浸透を図り、点検整備を習慣付けるとともに、帆走能力や荒天帆走能力あるいは落水救助などの訓練を推進することにより、海難事故防止の徹底を図ることを目的とする。

## 「2014 秋の安全週間」

期 間：2014年9月20日（土）～28日（日）

主テーマ：事前の「落水防止」

落水後の救助訓練も必要であるが、まず落水しないために日頃の艇整備とセーリング技術の向上が何より重要である。

以上